

# 『フェミニズム』



江原由美子＋金井淑子編

新曜社

本体2600円

理論的整理と最新の問題提起

「フェミニズム」は、学問や思想に大きな衝撃を与え、家族・労働・政治・文化・教育・医療・福祉などのあらゆる生活領域の見直しを迫った。「フェミニズム」は、社会への新たな洞察を生み出す視座として重要であり、そして、今なお、学問や思想における革新的想像力の源泉であり続けている。男性と平等の市民権を求めた第一波フェミニズムは、確実に二〇世紀初頭の女性参政権の獲得に結びつき、第二波フェミニズムは、ラディカル・フェミニズム、マルクス主義フェミニズム、社会主義フェミニズム、ポストモダン・フェミニズム、ポスト・マルクス主義フェミニズムなど、性差別のとらえ方によって、いくつかの異なる理論の流れを生みだした。さらに、フェミニズムと関連する他の社会問題領域との接点において、レズビアン・フェミニズムやフェミニズムの中のレイシズムの問題、エコロジカル・フェミニズムなども議論される。本書は、フェミニズムの理論的整理と最新の問題提起を詳細に論述している価値ある一冊。